

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		献血推進事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	010302000348
総合計画の施策名		O103 地域医療体制の充実					単独/補助	単独	所属課	040401 健康推進課
政策体系	政策名	O1 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							課長名	
	施策名	O3 地域医療体制の充実							グループ	管理
	手段名	O2 ②地域医療機関等との連携							担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し ( 年度~)	
	01	04	01	01	02	00	保健衛生総務事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 安全な血液製剤の安定供給をめざし、岩瀬ライオンズクラブ・真壁ライオンズクラブ・常陸大和ライオンズクラブの協力、公立高校1校、地元企業18社、2医療機関(上の原病院・さくらがわ地域医療センター) 官庁関係(岩瀬・真壁・大和庁舎・桜川警察署等)の職員・社員の方々一般市民の理解のもと献血を実施している。 実施の際、桜川市より大人には洗剤とタオル等を進呈、ライオンズ協賛の場合は、各ライオンズごとに進呈の品物が異なる。事業所の規模によって献血協力者数は異なるが、安定的な供給のために一定の協力者数を得られている。岩瀬ライオンズ主催の岩瀬体育館での献血は車2台、1日平均で100人の協力が得られる。また献血バスの運行を減少させる方針となり、桜川市の配車日程も大幅に削減となったため献血実施者数の目標も減少となっている。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ●献血協力事業所等への依頼、移動採血車で献血が円滑に出来るよう献血の場所の確保、ポスター・チラシ・防災無線・広報等で献血協力を募る。 ●県計画に基づき防災無線及び市広報等により献血啓発を行うとともに、献血協力団体及び事業所の協力を得実施した。 ●献血功労者表彰推薦

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>献血協力事業所と血液センターとの連絡調整。</li> <li>移動採血車の場所の確保。</li> <li>献血協力者への記念品の補充、配布。</li> </ul>	移動採血車の配車数	台	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
	献血協力団体及び事業所	力所	18.00	21.00	20.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
16歳から69歳までの市民	16歳から69歳までの市民数	人	23,895.00	22,124.00	22,100.00	22,050.00	22,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
献血に理解・協力する市民及び献血団体・事業所の献血の思想普及による協力の充実。	献血実施者数(延べ)	人	907.00	904.00	900.00	900.00	900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	205	209	203		
		事業費計(A)	千円	205	209	203		
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	209		07 報償費	200	
				10 需用費	3	
		合計	209		合計	203

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	●献血協力事業所等への依頼、献血場所の確保、ポスター・チラシ・防災無線・広報等で献血協力を募る。 ●県計画に基づき防災無線及び市広報等での献血啓発。 ●献血功労者表彰推薦	●献血協力事業所等への依頼、献血場所の確保、ポスター・チラシ・防災無線・広報等で献血協力を募る。 ●県計画に基づき防災無線及び市広報等での献血啓発。 ●献血功労者表彰推薦	●献血協力事業所等への依頼、献血場所の確保、ポスター・チラシ・防災無線・広報等で献血協力を募る。 ●県計画に基づき防災無線及び市広報等での献血啓発。 ●献血功労者表彰推薦

●献血切が台衣彩推馬		●献血切が台衣彩推馬		●献血切が台衣彩推馬	
事務事業名	献血推進事業	事務事業No.	10302000348	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和39年に「献血の推進について」が閣議決定され、国及び地方公共団体による献血思想の普及と献血の組織化を図るとともに、日本赤十字社または地方公共団体による献血受入れ体制の整備推進が行われた。その後、各地に赤十字血液センターが開設されていき、血液センターからの依頼によって献血は推進されてきた。血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進を目的とし、平成15年に制定された「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」の施行により開始。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
なし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 献血事業により血液製剤の向上と、安定供給の確保を図ることは、「健康づくりの推進」に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 献血事業を円滑に実施することは、「安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律」で、各自治体の責務となっている。	
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 献血事業について理解してもらうため、献血の趣旨について、更なる周知徹底を図る。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安全な血液製剤の安定供給が出来なくなる。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 献血事業の特異性により他の手段はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 職員2人で対応しており削減の余地はない。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 献血協力者に対する報償品であり公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	血液製剤の安定供給は、命を守る医療体制の基盤であり、安心できる健康福祉社会の構築に不可欠である。少子高齢化により献血可能人口が減少する一方、医療現場での需要は増加しており、継続的な安定供給には周知と協力体制の強化が求められる。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>